

JAMA NEWS

NO. 48

The Japanese Association of Management Accounting

日本管理会計学会 〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4-28-1 国士舘大学経営学部 日本管理会計学会事務局

次期会長に 伊藤和憲氏選出

2019 年度年次全国大会期間中に実施された会長選挙の結果、伊藤和憲氏(専修大学)が次期会長に選出されました。

理事選挙結果

2019 年度年次全国大会期間中に実施された理事選挙の結果、次の 40 名が選出されました(敬称略)。

青木雅明	(東北大学)
浅田拓史	(大阪経済大学)
新井康平	(大阪府立大学)
新江 孝	(日本大学)
今井範行	(トヨタファイナンス株式会社)
岩田弘尚	(専修大学)
岩田悦之	(ZECO パートナズ株式会社)
内山哲彦	(千葉大学)
大鹿智基	(早稲田大学)
庵谷治男	(東洋大学)
大槻晴海	(明治大学)
大沼 宏	(中央大学)
奥 倫陽	(東京国際大学)
尾畑 裕	(一橋大学)
川島和浩	(苫小牧駒澤大学)
木村麻子	(関西大学)
後藤晃範	(大阪学院短期大学)
崎 章浩	(明治大学)
椎葉 淳	(大阪大学)
島 吉伸	(近畿大学)
清水 孝	(早稲田大学)
清水信匡	(早稲田大学)
谷守正行	(専修大学)
塘 誠	(成城大学)
中井誠司	(国士舘大学)
中村博之	(横浜国立大学)
長谷川恵一	(早稲田大学)
挽 文子	(一橋大学)
藤野雅史	(日本大学)
細海昌一郎	(首都大学東京)
松尾貴己	(神戸大学)
丸田起大	(九州大学)

向田 靖	(株式会社経営研究所)
本橋正美	(明治大学)
森口毅彦	(富山大学)
諸藤裕美	(立教大学)
山浦裕幸	(千葉経済大学)
山口直也	(青山学院大学)
山下裕企	(青山学院大学)
横田絵理	(慶應義塾大学)

総会承認による理事の選任

役員選任規程第 8 条により、2019 年度会員総会において会長および副会長の 5 名が次期理事に選任されました(敬称略)。

会 長	水野 一郎	(関西大学)
副会長	伊藤 嘉博	(早稲田大学)
	井岡 大度	(国士舘大学)
	澤邊 紀生	(京都大学)
	中川 優	(同志社大学)

監事の選任

役員選任規程第 11 条により、2019 年度会員総会において次の 3 名が次期監事として承認の上、選任されました(敬称略)。

長谷川泰隆	(麗澤大学)
横山 和夫	(公認会計士)
長屋 信義	(産業能率大学)

副会長、追加の理事および常務理事は、2020 年 3 月に開催予定の「みなし理事会」において選任されます。「みなし理事会」では、最初に、次期会長により、副会長(4 名以内)の選任および理事の追加選任(10 名以内、うち大学関係者 7 名以内、実務家 3 名以内)が提案され審議されます。

次に、次期常務理事を、2016 年度年次全国大会時に選出された理事の中から投票によって上位 15 名選出します。さらに、次期会長から常務理事の追加選任(5 名以内、うち大学関係者 3 名以内、実務家 2 名以内)が提案され審議されます。

新役員の構成は、学会誌『管理会計学』、JAMA ニュース、JAMA ホームページに掲載します。

学会賞決定!

特別賞、功績賞の審査委員会の審議の結果を受けて、2019年7月20日（土）の第2回常務理事会において、特別賞が廣本敏郎氏に決定しました。2019年度会員総会の中で受賞式が行なわれ、水野一郎会長より賞状および副賞が授与されました。おめでとうございます。

《特別賞》

廣本敏郎氏（一橋大学名誉教授）

《功績賞》

該当者なし

論文賞、文献賞および奨励賞の審査委員会の審議の結果を受けて、2019年8月27日（火）開催の第3回常務理事会において、本年度の論文賞および文献賞、奨励賞が次の3氏に決まりました。2019年度会員総会の中で受賞式が行なわれ、水野一郎会長より賞状と副賞が授与されました。おめでとうございます。

《論文賞》

渡辺岳夫氏（中央大学）

「アメーバ経営システムの運用の継続企業と中止企業の比較
—組織成員に対する心理的な影響メカニズムの多母集団同時分析—」

受賞理由：

本論文は、アメーバ経営のこれまでの研究とは一線を画して、継続企業と中止企業を分析して、その違いから中止原因を探るという興味深いテーマである。ほとんどは継続企業と中止企業に違いを発見できなかった。そのようななかで、中止企業でも集約的効力感が促進された場合は、グループパフォーマンスを促進させることを発見したことは興味深い。中止した企業1社の事例による分析ではあるが、中止した企業からデータを得られること自体が難しい状況で、確かな分析を行った点が高い評価につながった。以上より、本論文は学会賞に値するものと考え、論文賞を授与する。

《文献賞》

伊藤克容氏（成蹊大学）

『組織を創るマネジメント・コントロール』

受賞理由：

本研究は、マネジメント・コントロールに関する包括的な研究成果であったという特長を持つ。まず、アンソニーからマーチャントやマルミ&ブラウンへの変遷を明らかにした。その上で、創発戦略のためにサイモンズの選択肢を広げるモデルとバーゲルマンの選択肢を絞り込むモデルを明らかにした。業務ルーティーンの改善、イノベーション創出、戦略変更といったマネジメント・コントロールのコアの課題を検討した。さらに、組織間管理会計や顧客との価値共創へとマネジメント・コントロールを拡大した。本研究により、マネジメント・コントロールが深く掘り下げられるだけでなく、組織間や顧客へと拡張された。以上より、本研究書は学会賞に値するものと考え、文献賞を授与する。

《奨励賞》

鬼塚雄大氏(慶應義塾大学大学院)

「自律的な在外子会社に対する本社による業績管理の影響」

受賞理由

本研究は、日本にある在外子会社に対する本社の業績管理の影響について仮説検証した論文である。本社の業績管理システム(PMS)と在外子会社の意思決定についての先行研究から3つの仮説を導き出し、これらを検証した。ほとんどの仮説が部分的に支持された。興味深いのは、部分的に支持された仮説をさらに補助分析を行って、より厳密な分析を行った点が優れた評価といえよう。ただし、本研究は先行研究をベースにしたものであり、自ら新たな研究テーマを発見したわけではない。このような限界はあるが、本論文の価値が低くなるものではなく、本論文は、学会賞に値すると考え、ここに奨励賞を授与する。

スタディ・グループおよび産学共同研究グループ決定

2019年7月20日において開催された第2回常務理事会において、産学共同研究グループの選考が行われ、審議の結果、中川優氏を研究代表者とするグループの採択が承認されました。また、8月27日において開催された第3回常務理事会において、スタディ・グループの選考が行われ、審議の結果、諸藤裕美氏を研究代表者とするグループの採択が承認されました。

《スタディ・グループ》

研究代表者: 諸藤裕美氏(立教大学)

「原価企画の今日的課題と対応に関する研究」

《産学共同研究グループ》

研究代表者: 中川優氏(同志社大学)

「人を基軸」にしたグローバル経営を展開するダイキン工業の管理会計の研究

2020年度年次全国大会 名古屋商科大学に決まる！

2020年度年次全国大会が次のとおり決定いたしましたのでお知らせいたします。なお、詳細については追ってお知らせいたします。

- 日程：8月27日(木)～8月29日(土)
- 場所：名古屋商科大学名古屋丸の内キャンパス (〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-3-1)
- 大会準備委員長：辻正雄氏

事務局からのお知らせ

- 学会事務局が以下の通り国士舘大学に移転したのでお知らせいたします。なお、メールアドレスに変更はありません。
- フォーラムやリサーチセミナーの案内等、会員宛の連絡にeメールを活用したいと考えています。メールアドレスを未登録の方は、学会事務局までご連絡ください。また、すでに登録されている方で、案内等が届かない、あるいは、メールアドレスに変更があった場合には、速やかに学会事務局までご連絡ください。

日本管理会計学会広報 責任者 : 井岡大度

メンバー : 片岡洋人, 後藤晃範, 奥 倫陽

発行機関 : 日本管理会計学会

《本部事務局》 〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4-28-1

国士舘大学経営学部 井岡大度研究室内 日本管理会計学会事務局

E-mail : jama-info@sitejama.jp

ホームページ | 【URL】 <http://www.sitejama.jp/>